

産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

取組の概要

取組の概要 : 農業者と加工業者の連携による六次産業化の推進
計画作成主体 : 真狩村地域農業再生協議会
対象品目 : 馬鈴しょ (産地面積: 56.7ha)
主な取組主体 : 株式会社アグリテック真狩
成果目標 : 販売額の10%以上の増加
助成金の活用 : 整備事業 (農産物処理加工施設)
状況

ポイント

地域農業者と加工業者が連携して法人を設立し、農産物処理加工施設を整備することにより、農産加工品の製造や海外への輸出等による六次産業化及びシストセンチュウ抵抗性品種の作付け拡大等による単収の増加により、販売額11.3%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

現状:H27年度

作付面積: 42.5ha (出荷量: 1,301t)
単収: 3,062kg/10a
輸出量: 0kg

目標:H30年度

作付面積: 56.7ha (出荷量: 2,059t)
単収: 3,633kg/10a
輸出量: 30,000kg



規格外品をチルドじゃがいも等に処理加工し高付加価値化

推進体制

地域の関係者(真狩村、農業者、民間事業者等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

主な取組

H26、北海道開発局の事業により、農業者、行政、関係機関等で協議会を設立し、地域農産物の加工販売等の六次産業化について、検討を開始。

H27、地方創生交付金を活用して、引き続き協議会により農産物加工の事業化等について検討した結果、株式会社アグリテック真狩の設立につながる。

事業効果

規格外農産物をチルドじゃがいも等として加工処理し付加価値をつけて販売することにより、農業者の農産物販売額が増加。

地域農産物の加工企業が村内に設立されることにより、地域住民の雇用の場を創出。

~ 馬鈴しょの単位面積あたりの販売額 ~

